資料３

JRAにおけるギャンブル等依存症対策の取組状況について

２０２６年１１月１１日

日本中央競馬会

第１　クレジットカード等後払い決済の見直しに関する検討

１　JRAにおけるクレジットカード決済（JRAダイレクト）の利用制限状況

JRAダイレクトはインターネット投票においてクレジットカード決済で馬券が買える仕組み。

- JRAダイレクトで登録できるクレジットカードは１人１枚（複数カードの登録不可）
- 1回払いのみ（リボルビング払い・分割払いは不可）
- 月額利用上限額：10万円
- 利用停止申請および購入限度額設定が可能
- キャリア決済等は利用不可

以上の制限により、多重債務を誘発しない仕組みの構築に配慮している。

また、利用者からはJRAダイレクトに関する利用制限の強化や制度の廃止を求めるような否定的なご意見はいただいていない。

２　JRAダイレクトの在り方に関する検討状況

JRAダイレクトを利用したインターネット投票のデータ分析を進め、その結果に基づき、利用の在り方について検討する。

第２　ポイント付与制度見直し後の遵守状況

１　JRAのポイント付与サービスについて

- JRAでは、インターネット投票に対するポイント付与は実施していない。
- JRAでは、専用のUMACAカードに現金をチャージし、UMACAで馬券を購入できるサービスを実施しており、その際に一定のポイントが付与される。

２　UMACAにおけるポイント付与率（2026年実績）

	通常	キャンペーン時	
進呈ポイント	購入額の0.5%	購入額の　1%（2倍）	特定レース開催日（ＧⅠ等）、フリーパス（入場無料）の日、利用促進キャンペーン、函館競馬場130周年記念、シニアサンクスデー（65歳以上限定）　等
		購入額の1.5%（3倍）	お年玉キャンペーン（1/4）
		購入額の2.5%（5倍）	JRAアニバーサリー（9/21） 電話・インターネット発売50周年記念（10/10） 秋のスペシャルボーナス（のべ4日間）

３　ポイントの活用方法

① UMACAカードへのチャージ（1P＝1円）
② 競馬場、ウインズ食堂・売店クーポンへの交換
③ ターフィーショップクーポンへの交換
④ JRAオリジナルグッズへの交換（サーモボトル・折り畳み傘）

第３　インターネット投票データ等の分析

１　調査分析の取組み方針（2026年）

①　海外においてオンラインカジノにおける依存症問題を研究した論文を調査することにより、依存症に陥る特徴的な問題行動（例：入金回数の頻度、残高枯渇の発生状況等）の抽出に努める。

②　JRAネット投票における利用停止者の投票データの中に、論文の調査で得た特徴的な問題行動と合致する行動が存在するかを検証する。

③　利用停止者と非利用停止者の投票データで比較検証し、利用停止者の特徴的な問題行動として設定できるかを検討する。

２　調査分析の取組み状況（2026年10月14日時点）

①　海外論文を調査した結果、購入（入金）頻度・損失直後の再購入・購入金額のエスカレート等が依存症に陥る特徴的な問題行動として抽出されていることを確認。

②　JRAネット投票利用停止者において、①で確認された特徴的な問題行動が存在するかを現在検証中。

③　問題行動の存在が認められた場合は、利用停止者と非利用停止者の投票データにおいて、その有意性を比較検証するとともに、より精度の高い問題行動の絞り込みが可能であるか検討する。

３　2027年以降の取組み方針

- 蓄積した投票データを用いて、特徴的な問題行動についてさらなる検証を重ねる。
- その後、効果的な予防措置について検討していく。

第４　アクセス制限等

１　競馬場・場外馬券発売所における、本人・家族申告によるアクセス制限の強化、20歳未満の者の購入禁止の強化および個人認証システムの活用に向けた検討

○本人・家族申告によるアクセス制限

競馬場および場外馬券発売所において、入場口及び馬券発売機付近への警備員配置の強化、警備員の場内巡回数の増加を実施することで対象者の把握および入場制限（来場時に退場を促すお声掛け）を実施している

○20歳未満の者の購入禁止の強化

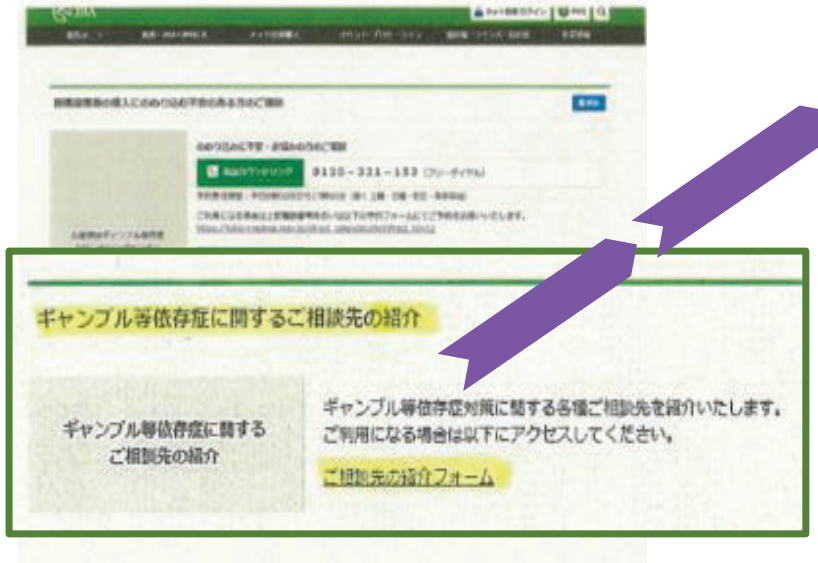
2017年に「20歳未満の者への対応要領」を作成。警備員等に対する教育・指導を徹底した上で、警備員等による声掛けおよび年齢確認を行い、20歳未満の者による馬券の購入および場外馬券発売所への入場を防止している

○個人認証システムの活用に向けた検討

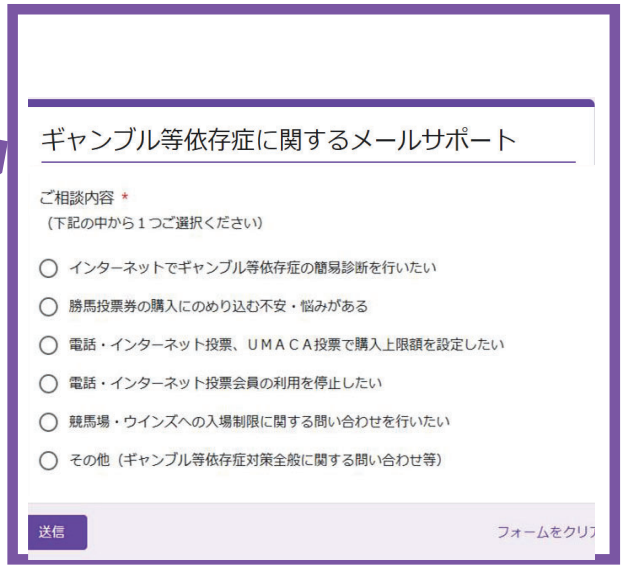
個人認証においては、素顔での認証精度は向上しつつあるものの、マスク・眼鏡着用等で同一人物を検知できないケースがあり、年齢認証においては誤検知の事象が高い割合で発生していることから、引き続き、検出精度の向上に関する情報を収集していく

２　アクセス制限の利便性向上に向けた取り組み

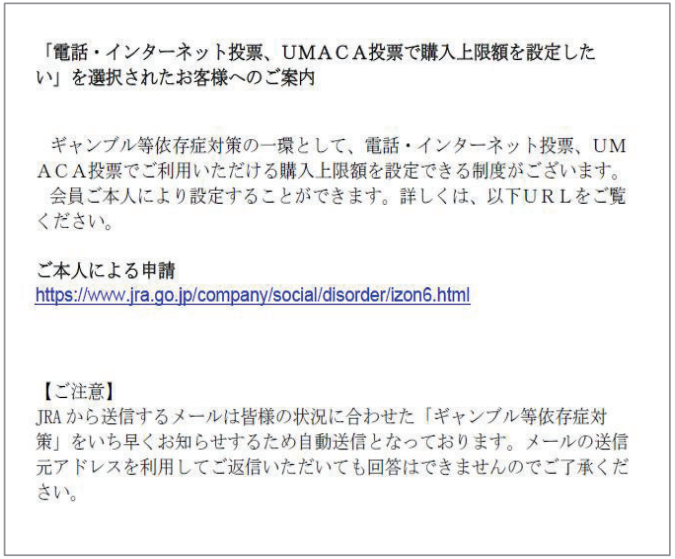
①相談内容に対するメール自動返信システムとして、「ギャンブル等依存症に関するご相談先等の紹介」のコーナーをJRAホームページ内に新たに設置。
　「ご相談先のフォーム」をクリックしたお客様に対し、フォームにおける簡易診断、アクセス制限制度、対策全般に関するお問い合わせ等の選択を提示し、それぞれの制度に関する情報が記載されたメールが返信されるシステムを導入
（2026年1月に導入）



JRAホームページ上に「相談先等の紹介」を設置



Googleフォーム上で相談先等を選択


「電話・インターネット投票、ＵＭＡＣＡ投票で購入上限額を設定したい」を選択されたお客様へのご案内

ギャンブル等依存症対策の一環として、電話・インターネット投票、ＵＭＡＣＡ投票でご利用いただける購入上限額を設定できる制度がございます。
会員ご本人により設定することができます。詳しくは、以下ＵＲＬをご覧ください。

ご本人による申請
https://www.jra.go.jp/company/social/disorder/izon6.html

【ご注意】
JRAから送信するメールは皆様の状況に合わせた「ギャンブル等依存症対策」をいち早くお知らせするため自動送信となっております。メールの送信元アドレスを利用してご返信いただいても回答はできませんのでご了承ください。

相談先等の情報をメールにて返信

②JRAにおけるアクセス制限制度や依存症対策に関する相談先を容易にご案内できるよう、ギャンブル等依存症対策リーフレットにQRコードを追記（2026年5月に実施）